

# 請願は「趣旨採択」

## 章南中のボート転覆事故死

### 豊橋市議会 新たな調査不要 福祉教育委

2010.12.17

豊橋市議会福祉教育委員会は16日開き、豊橋市章南中学校が静岡県・浜名湖で行った野外学習中にボートが転覆し、西野花菜さん(12)が亡くなった事故に関し、両親が提出した「豊橋市立章南中学校自然体験学習におけるボート転覆事故の真相究明をを求める請願」について審議した。起立採決の結果、趣旨採択となった。(2面に関連)



章南中ボート事故の真相究明を求めた請願での起立採決

父親の西野友章さんら遺族が同議会に提出した請願は2件。1つは、事前の危機予測▽乗船配置▽ボート訓練中止の判断基準など事故状況の不明点8項目について、市と市教委に真相を明らかにすることを求めるもの。もう一つは、友章さんらが11月に集めた1万6073人の署名を添え、事故の真相究明と再発防止策の作成を求めたもの。

いずれも紹介議員は、公明党、まちなオラム(民主系)、共産党の3党派と、寺本泰之(紘基会)、渡辺則子(とよはし市民会議)の10人。審議でまず、鈴木義則氏(公明)が市

の対応を聞いたのに対し、加藤正俊教育長は「請願8項目についてあらためて関係者からの聞き取り作業を行っている」とし「対応マニュアルも遺族や専門家などの意見を踏まえ、より実効性のあるものとするために修正作業を行っている」と答弁。

梅村直子氏(共産)が、転覆した艇の2人の教諭が乗船していた生徒全員の救出確認をできなかった理由や学校長が救助本部へ移動できなかった理由を質問。白井宏治学校教育課長は「再確認中の途中経過だ」と断った上で、教諭の救出確認については「2人が海に投げ出されてボートから離れてしまった」、学校長については「事故の事実確認と警察、消防との連絡に追われ

た」と説明した。遺族対応については「1月命日に遺族宅を訪れて質問に答えってきたが当初、つらい気持ちを考えて言葉を選んできた。しかし、今回、請願が出されたこと、事故後6カ月が経過したこともあり、具体的な内容を伝えていきたい」。

質疑後の討論では、久保田正氏(春風会)が「今回の請願事項は事故後2回開いた同委員会でおおむね確認されている。真相究明は静岡県警、国交省の事故調査委員会の結論が出た段階で新たな対応を検討すべき」と趣旨採択とすることを提案し、鈴木氏も同調。

趣旨採択とするかを決める採決では梅村、寺本両氏を除く7人が起立し、賛成多数により趣旨採択とした。(松井俊満)

もっと自由に さらに個性的な  
株式会社 ライフ建設  
ライフホーム(不動産部)  
〒441-8016 豊橋市新栄町南小向158番地 TEL0532-32-8079 FAX0532-33-0716  
ホームページ <http://www.life-kensetu.com/>

2010.12.17  
中日新聞版

(第3種郵便物認可)

# 真相究明の趣旨採択

## 豊橋市議会 豊橋市議会の福祉教育委員会は十六日開き、静岡県・浜名湖で起きたボート事故で亡

豊橋市議会の福祉教育委員会は十六日開き、静岡県・浜名湖で起きたボート事故で亡

を求め、請願を趣旨採択した。

委員会は「なぜ学校が転覆を予期していなかったのか」「引率教員が転覆したボートにいた生徒の救出確認をしなかったのはなぜ

か」などの質問が相次いだ。市教委は今後、当時の教員から再び聞き取り調査をし、事故報告書を充実させる考えを示した。

事故をめぐっては十月に、豊橋市の説明責任が果たされていないとして父親の友章さん

(五)が市に、真相究明を求め、署名書を提出。さらに「(事故当事者の)静岡県や同県警の調査結果を待つ」との答えを繰り返す市の態度に不信感を募らせ、十一月に豊橋駅前などで署名活動をし、集まった一万六千人余

の署名を添えて市議会に請願を提出した。

財 松 た

# ボート事故請願を趣旨採択

## 豊橋市議会 遺族「残念、再調査を」

6月に浜名湖であったボート転覆事故で、亡くなった豊橋市立章南中学校1年、西野花菜さん(当時12)の父・友章さん(51)が事故原因の調査と再発防止策などを求めた請願について、市議会福祉教育委員会は16日、賛成多数で請願を「趣旨採択」した。

趣旨採択は「請願の趣旨には理解を示すが、全面的には受け入れられない」というもの。24日の12月定例会本会議

で議決されるが、同様の結果になる公算が高い。

加藤正俊教育長は「(請願に基づき)関係者への聞き取りを始めている。内容を整理して遺族に答えていく」と述べた。鈴木義則市議(公明党市議団)は討論で「心情は理解し、紹介議員になったが、請願で(西野さんが)求めたことが確認された」として、趣旨採択を主張した。久保田正

市議(春風会)も同調した。紹介議員の梅村直子市議(共産党市議団)は「市当局としても事故、請願内容に向かい合って真相究明をやっていくべきだ」として、請願通りの採択を主張した。友章さんは「趣旨採択は残念。市教委は掘り下げた再調査をして、事実関係がわかるような報告を。学校教育のあり方を問い直してほしい」と話した。

2010.12.17  
中日新聞版

# ボート事故 請願趣旨採択 市の責任追及の声も

豊橋市議会 福祉教育委

静岡県・浜名湖で起きたボート事故で、真相究明を求める請願を審議した十六日の豊橋市議会福祉教育委員会は、「関係者の証人喚問を」「両親の思いを酌むべきだ」。委員から市の責任を追及する声が上がったが、結論は趣旨採択にとどまった。

事故で亡くなった章南中学校一年の西野花菜さん(当時12)の指定管理者を決める議

案も審議。浜名湖でのボート活動を指導した会社を指定する議案も

# 市長・豊橋市 市教委防止策は「基本情報不足」

## 濱名湖ボート転覆 補足を指示

豊橋市の佐原光一市長は1日の定例会見で、浜名湖で6月、自然体験学習中の手こぎボートが転覆し、西野花菜さん(当時12)が亡くなった事故に絡み、豊橋市教育委員会が市議会に示した文書は、気象についての検討など基本情報が不足しているとして改めて状況を把握し、補足するよう市教委に指示したことを明らかにした。一方、静岡県教委がまとめた報告書については「たいしたことは書いていない」と述べ、「豊橋の文書は、静岡に比べて質・量ともに少ない」と比較した報道の内容を批判した。

佐原市長は、国土交通省港湾局などで勤務した経験から、市教委の文書には「行動の基本となる天気図すら載っていない」と指摘し、関係者の記憶が薄れないうちに再度、状況把握と情報の共有を市教委に呼びかけたという。「不十分な点は真摯に反省する」として、今後文書に手を加えて改善する方針を示した。

ただ静岡県教委がまとめた事故報告書についても、「天気図もない。(訓練を主催した)三ヶ日青年の家に」風速計、風向計がないことにも触れられていない」と批判。「青年の家が持っているデータで、そのまま誰にでも出せる物を出しているだけ」「向こうがプロとして本来やるべきことは何も書かれていない」とも述べた。さらに報道の内容にも言及し、「(豊橋市教委の文書と) 相対論で言う話はやめてください」「色眼鏡はやめてほしい」と声を荒らげる場面もあった。

花菜さんの両親が市議会に原因調査を求める請願をしている点については「先方から口頭で聞かれたことは答えている。今回(請願で)出てきたことの多くは言葉で(両親に)お話ししてきたと聞いている」と述べた。

### 豊橋市長 ボート転覆遺族が請願書 「重く受け止める」

豊橋市の佐原光一市長は1日の定例会見で、浜名湖ボート転覆事故で亡くなった章南中一年西野花菜さん(当時12)の遺族から原因究明を求める請願書と一万六千人余の署名が市議会に提出され、「市として重く受け止める」と述べた。

【設案ダム問題】 設案ダム建設をめぐる、十一月二十六日に県や豊川流域の六市町が話し合う初会合に出席した佐原市長は「設案ダム建設は利水、治水の両面で必要。その立場は揺るがない」と、あらためて建設推進の方針を示した。

【TPP加盟】 国が加盟を検討しているTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)は加盟国間で関税が原則撤廃されるため、外国産の安い農産物が流入した場合、市は年間百億円の損失が出る試算がある。市長は「国に農家の保護を積極的に訴える」とした。

【浜名湖ボート事故】 市議会福祉教育委員会が十分審議する必要性に触れ「事故発生地の静岡県とも情報を共有し、事故報告書を修正した上で完成させたい」との考えを示した。

【設案ダム問題】 設案ダム建設をめぐる、十一月二十六日に県や豊川流域の六市町が話し合う初会合に出席した佐原市長は「設案ダム建設は利水、治水の両面で必要。その立場は揺るがない」と、あらためて建設推進の方針を示した。

(池内琢)

2010.12.2

朝日新聞

豊橋市 豊橋市議会 豊橋市教育委員会

2010.12.2

朝日新聞 三河